

## 「キリストはあなたを照らされる」

2019年02月22日

エフェソの信徒への手紙 5章6節～14節 　むなしい言葉に惑わされてはなりません。

これらの行いのゆえに、神の怒りは不従順な者たちに下るのです。だから、彼らの仲間に入れられないようにしなさい。あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい。——光から、あらゆる善意と正義と真実とが生じるのです。——何が主に喜ばれるかを吟味しなさい。実を結ばない暗闇の業に加わらないで、むしろ、それを明るみに出しなさい。彼らがひそかに行っているのは、口にするのも恥ずかしいことなのです。しかし、すべてのものは光にさらされて、明らかにされます。明らかにされるものはみな、光となるのです。それで、こう言われています。

「眠りにについている者、起きよ。死者の中から立ち上がれ。そうすれば、キリストはあなたを照らされる。」

「著者」は、神の怒りが、虚しい言葉で人を惑わし、不従順な行いに走る者たちの上に降るので、彼らの仲間に入れられないようにしなさいと忠告している。「あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい。——光から、あらゆる善意と正義と真実とが生じるのです。」

ヨハネ福音書は冒頭で、初めに言があり、言は神と共にあり、万物は言によって成ったとロゴス・キリスト論を展開している。「言（ロゴス・キリスト）の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている（ヨハネ1：4～5a）」と書いている。そして、主イエス御自身も「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ（ヨハネ：8：12）」と言っておられる。あなたがたは、以前は暗闇にいたが、今は、主イエスと結ばれ、光となっている。主イエスは光であり、歩むべき善意と正義と真実の道を示してくださる。光の下で、何が主イエスに喜ばれるかを吟味しなさい。実を結ばない暗闇の業に加わらないで、むしろ、それらの不義を明るみに出しなさい。彼らがひそかに行っていることは、口にするのも恥ずかしいことである。主イエスの光にさらされ、全てのものが明らかにされる。

「それで、こう言われています。『眠りにについている者、起きよ。死者の中から立ち上がれ。そうすれば、キリストはあなたを照らされる。』」「眠りにについている者、起きよ。死者の中から立ち上がれ」という言葉に類似する言葉はあるが、イザヤ書 60章1節、2節の「起きよ、光を放て。あなたを照らす光は昇り／主の栄光はあなたの上に輝く。見よ、闇は地を覆い／暗黒が国々を包んでいる。しかし、あなたの上には主が輝き出で／主の栄光があなたの上に現れる」の意識ではないか。地は暗黒であるが、主の栄光の光が輝き出るとの神賛美の歌である。「そうすれば、キリストはあなたを照らされる」という言葉は見当たらない。エルサレム神殿の祭司ザカリアの妻エリサベトは老年ながら、懐妊した。ザカリアは失語症になるが、エリサベトが子供を産むと、「この子の名はヨハネ」と板書し、命名した。その時、舌がほどけ「ザカリアの賛歌」を歌う。その79節で「暗闇と死の陰に座している者たちを照らし、／我らの歩みを平和の道に導く」と、暗闇と死に座している者たちを照らすヨハネの生涯を預言している。「眠りにについている者、起きよ。死者の中から立ち上がれ。そうすれば、キリストはあなたを照らされる」という言葉は、眠っている者たちよ、起きよ、死者たちよ、立ち上がれ、どんな暗闇であろうと、キリストの光があなたを照らしてくださるといふ「著者」の喜びに満ちた信仰告白ではないか。